

## 業績（2023）年度

### A. 原著論文

1. Yagi T, Mannheimer B, Reutfors J, Ursing J, Giunta DH, Kieler H, Linder M. Bleeding events among patients concomitantly treated with direct oral anticoagulants and macrolide or fluoroquinolone antibiotics. *Br J Clin Pharmacol.* 2023;89(2):887-897.
2. Miyadera Y, Yamada T, Imoto Y, Yagi T, Naito T, Kawakami J. Characterization of plasma daptomycin in patients with serum highly glycosylated albumin and obesity. *J Infect Chemother.* 2023;29(2):119-125.
3. Nakatsugawa E, Naito T, Imoto Y, Shibata K, Ono T, Kawakami J. Characterization of endogenous markers of hepatic function in patients receiving itraconazole treatment for prophylaxis of deep mycosis. *J Infect Chemother.* 2023;29(3):244-249.
4. Suzuki Y, Naito T, Shibata K, Hosokawa S, Kawakami J. Associations of plasma aprepitant and its N-dealkylated metabolite with cachexia status and clinical responses in head and neck cancer patients. *Cancer Chemother Pharmacol.* 2023;91(6):481-490.
5. Murofushi T, Yagi T, Tsuji D, Furushima D, Fujikura T, Itoh K, Kawakami J. Changes in estimated glomerular filtration rate in patients administered proton pump inhibitors: a single-center cohort study. *Naunyn Schmiedeberg Arch Pharmacol.* in press
6. Nakatsugawa E, Naito T, Shibata K, Kitajima R, Kawakami J. Impacts of genetic polymorphisms and cancer cachexia on naldemedine pharmacokinetics and bowel movements in patients receiving opioid analgesics. *Fundam Clin Pharmacol.* in press
7. Suzuki K, Yagi T, Kawakami J. Long-term efficacies of selective vasodilators in pulmonary arterial hypertension: a comprehensive comparison using a spontaneous reporting database. *Naunyn Schmiedeberg Arch Pharmacol.* in press

### B. 論文形式のプロシーディング

### C. 総説

1. 大城隼也. 当院における対人業務拡充に向けた取り組み～病院薬剤師から薬剤師以外の者へのタスク・シフティング～. 静岡県病院薬剤師会会報. 2023.3 No 79 6-8.
2. 川上純一. 表彰 伝統に根ざしつつ常に未来志向思考で：厚生労働大臣表彰を受賞して. 静岡県病院薬剤師会会報. 2023.3 No 79 13.
3. 大城隼也. 中堅薬剤師の声. 静岡県病院薬剤師会会報. 2023.3 No 79 21.
4. 山田尚広. コロナ禍における医薬品適正使用・供給不足に対する薬剤部の取り組み. はんだ山の風. 2023;50:3.
5. 見野靖晃, 川上純一. 病院薬剤師が研究に取り組む背景. 調剤と情報. 2023;29(6):13.
6. 鈴木光路. 研究紹介文 2023 年度日本医療薬学会 Postdoctoral Award 受賞研究「頭頸部がん患者におけるトラマドールとその脱メチル化代謝物の光学異性体の血中動態解析に基づく臨床薬理研究」. 医療薬学. 2024; 50: 129.

## D. 報告書

## E. 記事・寄稿

## F. 番組出演・報道

## G. 著書・翻訳

## H. 学会活動

### 【特別講演・シンポジウム・受賞講演など】

#### 国内学会

1. 見野靖晃. 抗真菌薬の TDM 研究. シンポジウム 7: 免疫学的測定法の市販キットがない特定薬剤治療管理料 I 対象薬物の TDM. 第 39 回日本 TDM 学会・学術大会. 2023 年 6 月 (京都)
2. 八木達也. 薬物療法集中講義企画・運営小委員会企画シンポジウム. どう書く? 「薬学的介入を伴った症例報告」のポイントとは ～申請者・指導者としての立場から～. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
3. 鈴木光路. Postdoctoral Award 受賞講演. 頭頸部がん患者におけるトラマドールとその脱メチル化代謝物の光学異性体の血中動態解析に基づく臨床薬理研究. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
4. 八木達也. 奨励賞受賞講演. PK-PD 理論およびデータサイエンスに基づく Drug-drug / Drug-condition interaction に関する臨床薬理研究. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
5. 川上純一. シンポジウム 53. 病院フォーミュラリと地域フォーミュラリの連携 ーよりよい地域医療を目指してー地域包括ケア時代におけるフォーミュラリー: 医療機能の分化・強化・連携と持続可能な治療管理. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
6. 高井伸彦, 八木達也, 青野浩直, 川上純一. シンポジウム【タスク・シフト/シェアを考えるー医師の働き方改革とこれからの薬剤師像ー】. 浜松医科大学医学部附属病院における薬剤師業務のマネジメントについて. 第 34 回静岡県病院薬剤師会学術大会. 2024 年 2 月 (静岡)
7. 山口れな. U40 心不全ネットワーク企画 1 「心不全チーム運営のお悩み相談」. 第 27 回日本心不全学会学術集会. 2023 年 10 月 (横浜)

### 【一般発表】

#### 国内学会

1. 山本和輝, 八木達也, 星川昂平, 神谷正貴, 堀雄史, 川上純一. 頭頸部がん患者の放射線誘発性口腔粘膜炎に対するオピオイド鎮痛薬用量に着目した食事形態の選択方法の確立. 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023. 2023 年 11 月 (名古屋)
2. 鈴木光路, 八木達也, 川上純一. 肺動脈性肺高血圧症治療薬の長期生存へ有効性の網羅的な比較検討における自発報告データベースの活用. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
3. 朝倉充俊, 岩間創, 見野靖晃, 中津川瑛美, 小泉知展, 内藤隆文. 胸腺癌に対しレンバチニブ服用後に ANCA 関連血管炎を発症した 1 症例: レンバチニブと IL-6 の血中濃度からの考察. 第 33 回日本医療薬

学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)

4. 室伏琢磨, 八木達也, 田中達也, 辻大樹, 伊藤邦彦, 川上純一. プロトンポンプ阻害薬長期服用患者における eGFR slope の評価: DPC 病院データを用いた縦断研究. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
5. 中津川瑛美, 内藤隆文, 柴田海斗, 前川真人, 川上純一. がん病態時における血中ナルデメジン濃度と排便効果に及ぼす遺伝子多型と悪液質進行の影響. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
6. 佐藤聖, 加藤文美, 内田千瑛, 加藤彩, 山本和輝, 青野浩直, 見野靖晃, 川上純一. 抗がん薬調製ロボットを用いた drug vial optimization 導入とその評価. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
7. 松尾宗一郎, 野嶋芳紀, 佐藤聖, 田中達也, 邑瀬誠, 深津英人, 松井洸, 阿部真也, 山口浩, 野村和彦. 地域医療の質向上を目指した病薬連携研修会の取り組みとその評価. 第 33 回日本医療薬学会年会. 2023 年 11 月 (仙台)
8. 八木達也, 見野靖晃, 三浦基靖, 加藤弘美, 内藤隆文, 土井松幸, 御室総一郎, 中島芳樹, 川上純一. 術後患者におけるデクスメデトミジンの睡眠の質改善効果の個体間変動要因の検証. 第 44 回日本臨床薬学会学術総会. 2023 年 12 月 (神戸)

#### 【学会等における座長、オーガナイザー】

##### 国内学会

1. 見野靖晃: 第 39 回日本 TDM 学会・学術大会, 座長, 若手優秀演題賞候補演題, 2023 年 6 月 (京都)
2. 見野靖晃: 第 39 回日本 TDM 学会・学術大会, 座長, ベーシックレクチャー3: TDM 研究のエビデンス化—論文作成の第一歩—, 2023 年 6 月 (京都)
3. 見野靖晃: 第 17 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム, 座長, 教育講演, 2023 年 9 月 (松本)
4. 八木達也: 第 33 回日本医療薬学会年会, 座長, 一般演題 (口頭 2) 薬剤疫学・医療経済 2, 2023 年 11 月 (仙台)
5. 川上純一: 第 44 回日本臨床薬理学会学術総会, 座長, 一般演題(口演) 2-C-O12: 感染症 (優秀発表賞審査対象セッション), 2023 年 12 月 (神戸)
6. 見野靖晃: 日本薬学会第 144 年会, 座長, 一般口頭発表 (E) 医療系薬学 TDM・投与設計, 2024 年 3 月 (横浜)

##### 地域における研究会・研修会

1. Suzuki K, Yagi T, Kawakami J. Long-term efficacies of selective vasodilators in pulmonary arterial hypertension: a comprehensive comparison using a spontaneous reporting database. 浜松医科大学シンポジウム. 2024 年 3 月 (浜松)
2. 鈴木光路. 大学病院の薬剤師の多様な働き方～病院薬剤師、研究者、行政官として～. 静岡県立大学 大学病院薬剤師シンポジウム. 2023 年 12 月 (静岡)

##### I. 学会・会議開催

##### J. 学会等における役職 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

1. 川上純一: 日本病院薬剤師会 副会長

2. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会 副会長
3. 川上純一: 日本薬剤師会 副会長
4. 川上純一: 日本医療薬学会 代議員
5. 川上純一: 日本医療薬学会 学会誌 (Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences) 編集委員 (Editorial advisory board)
6. 川上純一: 日本臨床薬理学会 社員
7. 川上純一: 日本臨床薬理学会 広報委員会 委員
8. 川上純一: 日本臨床薬理学会 東海・北陸支部 支部世話人
9. 川上純一: 日本薬学会 医療薬科学部会 世話人
10. 川上純一: 日本薬学会 東海支部 幹事
11. 川上純一: 日本薬物動態学会 代議員
12. 川上純一: 日本薬剤学会 代議員
13. 川上純一: 日本薬剤疫学会 評議員
14. 川上純一: 日本薬剤疫学会 監事
15. 川上純一: 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 理事
16. 川上純一: 静岡県立大学 研究倫理審査委員会 委員
17. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 委員
18. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 疾病対策部会 委員
19. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 再生医療等評価部会 委員
20. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 臨床研究部会 委員
21. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 医薬品医療機器制度部会 委員
22. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 委員
23. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 薬事分科会 委員
24. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第一部会 委員
25. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会 委員
26. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品再評価部会 委員
27. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 医療分科会 委員
28. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 療養病床の在り方等に関する特別部会 委員
29. 川上純一: 厚生労働省 特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会 構成員
30. 川上純一: 厚生労働省 がん診療提供体制のあり方に関する検討会 構成員
31. 川上純一: 厚生労働省 医療放射線の適正管理に関する検討会 構成員
32. 川上純一: 厚生労働省 医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議 構成員
33. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 後発医薬品使用促進ロードマップ検証検討事業検討委員会 委員
34. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発等事業 委員
35. 川上純一: 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 審査・安全業務委員会 委員
36. 川上純一: 東海地区薬学部学生病院・薬局実務実習調整機構 委員

37. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) トライアウト 専門委員
38. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) 外部専門家
39. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評議員
40. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業運営委員会 委員
41. 川上純一: 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員会 委員
42. 川上純一: 一般社団法人日本医薬情報センター (JAPIC) 副会長
43. 川上純一: 国立大学附属病院長会議常置委員会 特定機能病院間相互のピアレビュー実施に伴う評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ 委員
44. 見野靖晃: 静岡県病院薬剤師会 評議員
45. 見野靖晃: 日本臨床薬理学会 社員
46. 見野靖晃: 日本薬学会 医療薬科学部会 若手世話人
47. 見野靖晃: 日本薬学会 代議員
48. 見野靖晃: 日本 TDM 学会 評議員
49. 見野靖晃: 日本医療薬学会 評議員
50. 青野浩直: 静岡県病院薬剤師会 理事
51. 堀雄史: 日本病院薬剤師会 医療安全対策委員
52. 堀雄史: 日本病院薬剤師会 生涯研修委員会試験小委員
53. 八木達也: 日本臨床薬理学会 編集委員会 委員
54. 八木達也: 日本薬剤疫学会 編集委員会委員
55. 八木達也: 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修小委員会委員
56. 山田尚広: 国公立大学病院感染対策協議会 ガイドライン作業部会 薬剤師委員代表

## K. 学会等への貢献

### 学術雑誌の査読

1. 見野靖晃. 医療薬学 (Jun 2023)
2. 見野靖晃. Pharmacy Practice (Jun 2023)
3. 見野靖晃. Current Drug Safety (Jul 2023)
4. 見野靖晃. Current Drug Safety (Aug 2023)
5. 鈴木光路. 日本臨床腫瘍薬学会雑誌 (Nov 2023)
6. 見野靖晃. 日本病院薬剤師会雑誌 (Dec 2023)
7. 鈴木光路. Journal of Thoracic Disease (Feb 2024)
8. 鈴木光路. 日本臨床腫瘍薬学会雑誌 (Mar 2024)
9. 見野靖晃. Current Drug Safety (Mar 2024)

### 認定審査協力

1. 加藤真也. 日本医療薬学会がん専門薬剤師更新申請に係わる書面審査 (Jan 2024)

## L. 研究会

## M. 学外講義・特別講演

## N. 院内講義・講演

1. 見野靖晃. 医薬品のリスクマネジメント（処方仕方の仕方、薬剤使用の注意点）. プライマリ・ケアの実践講座. 2023年4月15日
2. 鈴木利昌. がん性疼痛治療薬のキホン. 第2回緩和ケア講習会. 2023年8月29日
3. 中津川瑛美. 抗菌薬適正使用 Episode11. 令和5年度第3回感染対策講習会. 2023年9月6日
4. 田中紀章. 静脈栄養の基本. 第217回NST勉強会. 2023年10月10日
5. 石田卓矢. ヒューマリンR注/スライディングスケールについて. 2023年度第3回医療安全講習会. 2024年1月17日

## O. 施設見学

## P. 研究助成

1. 川上純一（代表）：2021年度科学研究費補助金，基盤研究（C）「がん病態時における末梢性 $\mu$ オピオイド受容体拮抗薬による臨床効果の個人差要因の解明」（2021–2023年度）（継続）
2. 荒川友博（代表）：2021年度科学研究費補助金，基盤研究（C）「NASHの肝線維化におけるマクロファージの活性化を介した組織線溶関連因子の役割」（2021–2024年度）（継続）
3. 井元優美（代表）：2022年度科学研究費補助金，若手研究「アゾール系抗真菌薬の薬物輸送担体阻害に基づく相互作用と臨床検査値の変動機序の解明」（2022–2026年度）（継続）
4. 佐藤聖（代表）：2022年度科学研究費補助金，若手研究「がん悪液質の病態時におけるCYP3A活性の定量評価とグレリン様作用薬の影響の解明」（2022–2025年度）（継続）
5. 望月啓志（代表）：2023年度科学研究費補助金，奨励研究「関節リウマチ患者における血中トシリズマブ濃度とOATP1B1輸送能の関係性解析」（新規）
6. 鈴木祐介（代表）：2023年度科学研究費補助金，奨励研究「アプレピタント及びサブスタンスP濃度に着目した制吐効果の個人差要因の解明」（新規）
7. 坂口健太（代表）：2023年度科学研究費補助金，奨励研究「CYP3A活性低下によるボノプラザン血中動態の変動と血中ガストリン上昇の関係解析」（新規）
8. 黒澤優子（代表）：2023年度科学研究費補助金，奨励研究「周産期のサイロキシン補充療法におけるOATP1Bバイオマーカーの有用性評価」（新規）
9. 山口れな（代表）：2023年度科学研究費補助金，奨励研究「血液脳関門破綻に注目したペランパネルの薬物動態解析と投与方法の確立」（新規）
10. 黒澤優子（代表）：浜松医科大学. 2023年度学内研究プロジェクト（大学院生学生研究支援事業）「周産期のサイロキシン補充療法におけるOATP1Bバイオマーカーの有用性評価」（新規）
11. 中津川瑛美（代表）：浜松医科大学. 2023年度学内研究プロジェクト（大学院生学生研究支援事業）「ナ

- ルデメジンの臨床効果に及ぼす血中オピオイド濃度およびオピオイド受容体活性の影響評価」(新規)
12. 鈴木光路(代表): 浜松医科大学. 2023年度学内研究プロジェクト(若手研究支援事業)「リアルワールドデータを用いた抗Aβ抗体薬に起因するアミロイド関連画像異常(ARIA)の重症化リスク因子探索のための学内共同研究」(新規)
  13. 鈴木光路(代表): 公益財団法人 薬学研究奨励財団, 第44回(2023年度)研究助成金(グループB)「病態クラスタリングによる左室駆出率の保たれた心不全患者の層別化とSGLT2阻害薬の臨床効果の個人差解明」(新規)

## Q. 共同研究

### 【国内】

1. 村木優一、冨瀬諒、漣航平(京都薬科大学): テイコプラニンあるいはバンコマイシンとピペラシリン/タゾバクタムの併用療法による急性腎障害の発現率の比較
2. 伊藤邦彦、辻大樹、室伏琢磨(静岡県立大学): 日本のデータベースを用いたPPIと有害作用発現リスクとの関係

### 【学内】

1. 小川法良(免疫リウマチ内科): 関節リウマチ患者における免疫抑制薬の体内動態と薬効および有害反応との関係
2. 三宅秀明(泌尿器科): 腎細胞がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
3. 前川裕一郎(循環器内科): 心不全患者における利尿薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
4. 前川裕一郎(循環器内科): 心房細動患者における抗凝固薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
5. 細川誠二(耳鼻咽喉科): 頭頸部がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
6. 小野孝明(血液内科): 易感染性患者における抗真菌薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
7. 永田泰之(血液内科): 多発性骨髄腫患者における抗体医薬の薬物動態に関する前向き観察研究
8. 加藤明彦(血液浄化療法部): 栄養輸液の連続投与が体内へ及ぼす影響の解明
9. 杉本健(消化器内科): 酸関連疾患患者における胃酸分泌抑制薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
10. 黒住和彦(脳神経外科): てんかん患者における抗てんかん薬の血中動態と臨床効果の個人差要因の解明
11. 松山幸弘(整形外科): 静脈血栓塞栓症における抗凝固薬とその代謝物の体内動態の個人差要因とそれらの治療効果・有害作用との関係解析

## R. 受賞

1. 八木達也. 奨励賞, 日本医療薬学会. 2023年11月
2. 鈴木光路. Postdoctoral Award, 日本医療薬学会. 2023年11月

S. 資格認定（2023年4月1日～2024年3月31日）

1. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 2名：加藤真也, 佐藤聖
2. 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師 1名：加藤真也
3. 日本臨床腫瘍学会 がんゲノム医療コーディネーター研修会受講 1名：佐藤聖
4. 日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師 2名：森下由加里, 望月啓志
5. 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師 2名：八木達也, 山田尚広
6. ICD制度協議会 インфекションコントロールドクター 2名：八木達也, 山田尚広
7. 日本病院薬剤師会 精神科薬物療法認定薬剤師 1名：加藤真也
8. 日本病院薬剤師会 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 1名：大城隼也
9. 日本糖尿病療養指導士認定機構 糖尿病療養指導士 4名：山本知広, 丸山修治, 石田卓矢, 内田千瑛
10. 日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士 5名：青野浩直, 山本知広, 田中紀章, 玉内志保, 内田千瑛
11. 日本臨床栄養代謝学会 臨床栄養代謝専門療法士（がん専門療法士）1名：田中紀章
12. 日本薬剤師研修センター 認定薬剤師 5名：見野靖晃, 田中紀章, 田中達也, 大城隼也, 中西美怜
13. 薬学教育協議会 認定実務実習指導薬剤師 11名：川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 堀雄史, 八木達也, 山本知広, 高井伸彦, 丸山修治, 田中紀章, 山田尚広, 石田卓矢
14. 日本病院薬剤師会 日病薬認定指導薬剤師 12名：川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 八木達也, 加藤真也, 山田尚広, 田中紀章, 石田卓矢, 田中達也, 玉内志保, 大原早織, 井元優美
15. 日本病院薬剤師会 日病薬認定病院薬学認定薬剤師 17名：高井伸彦, 加藤真也, 田中達也, 玉内志保, 片桐由紀子, 井元優美, 内田千瑛, 森下由加里, 加藤彩, 鈴木光路, 山本和輝, 坂口健太, 鈴木利昌, 望月啓志, 黒澤優子, 中津川瑛美, 山口れな
16. 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 14名：川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 堀雄史, 八木達也, 加藤真也, 丸山修治, 山田尚広, 田中紀章, 石田卓矢, 佐藤聖, 田中達也, 大城隼也, 井元優美
17. 日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師 6名：川上純一, 見野靖晃, 堀雄史, 八木達也, 丸山修治, 山田尚広
18. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師 6名：川上純一, 見野靖晃, 山田尚広, 田中紀章, 佐藤聖, 鈴木光路
19. 日本臨床薬理学会 認定CRC 1名：高井伸彦
20. 日本臨床薬理学会 指導薬剤師 3名：川上純一, 見野靖晃, 山田尚広
21. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師 1名：田中紀章
22. 日本医療薬学会 薬物療法指導薬剤師 1名：八木達也
23. 日本臨床化学会 認定臨床化学者 1名：見野靖晃
24. 日本薬剤疫学会 認定薬剤疫学家 1名：堀雄史
25. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 レギュラトリーサイエンスエキスパート（PV分野）1名：堀雄史
26. 日本循環器学会 心不全療養指導士 2名：山口れな, 川田雅貴
27. 日本病院薬剤師会 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習 受講 15名：見野靖晃, 加藤真也, 山田尚広, 石田卓矢, 佐藤聖, 田中達也, 井元優美, 鈴木祐介, 坂口健太, 鈴木利昌, 望月啓志, 黒澤優子,



中津川瑛美, 山口れな, 川田雅貴

28. 有機溶剤作業主任者 技能講習受講 1名：見野靖晃
29. 普通第一種圧力容器取扱作業主任者 技能講習受講 1名：堀雄史
30. 日本 DMAT 1名：石田卓矢
31. 静岡県 DMAT-L 隊員 2名：石田卓矢, 大城隼也
32. 静岡県肝炎医療コーディネーター2名：内田千瑛, 中津川瑛美
33. 日本精神科評価尺度研究会 薬剤性錐体外路症状評価尺度評価者 Web 講習 13 級修了：加藤真也

#### T. 施設認定 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

1. 日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師制度地域薬学ケア専門薬剤師研修施設 (基幹施設) 認定番号 第 21-0067 号
2. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師制度がん専門薬剤師研修施設 認定番号 第 20-10-0086 号
3. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師制度薬物療法専門薬剤師研修施設 (基幹施設) 認定番号 第 23-12-0054 号
4. 日本医療薬学会 認定薬剤師制度研修施設 第 19-99-0076 号
5. TDM 品質管理機構 2023 年度抗菌・感染症薬 TDM コントロールサーベイ参加施設
6. 薬学教育協議会 令和 6 年度薬学生実務実習受入施設
7. 日本薬剤師研修センター 研修会実施機関 実施機関コード K03-22-011
8. 日本薬剤師研修センター 研修受入施設 登録番号 K10-22-003
9. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師研修施設 第 9916 号
10. 日本病院薬剤師会 プレアボイド報告施設
11. 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業 暫定研修施設 第 21-5068-01 号

#### U. 学位申請

1. 鈴木祐介：博士 (医学) 浜松医科大学 (2023 年 2 月) 「頭頸部がん患者における血漿中アプレピタント及びその N-脱アルキル化代謝物と悪液質の進行及び臨床効果との関連性. Associations of plasma aprepitant and its N-dealkylated metabolite with cachexia progression and clinical responses in head and neck cancer patients」
2. 中津川瑛美：博士 (医学) 浜松医科大学 (2023 年 3 月) 「オピオイド鎮痛薬投与患者の遺伝子多型とがん悪液質がナルデメジンの薬物動態および排便に及ぼす影響. Impacts of genetic polymorphisms and cancer cachexia on naldemedine pharmacokinetics and bowel movements in patients receiving opioid analgesics」

#### V. 学位

川上純一 (薬学)

見野靖晃 (医療薬学)

堀雄史 (臨床薬学)

八木達也 (医学)

加藤真也 (医学)

丸山修治 (医療薬学)

大城隼也（薬学）  
山田尚広（医学）  
石田卓矢（医学）  
佐藤聖（医学）  
田中達也（医学）  
鈴木光路（薬学）  
荒川友博（薬学）  
鈴木祐介（医学）  
室伏琢磨（薬学）  
井元優美（医学）  
長邑花（薬学）  
中津川瑛美（医学）

大学院生

浜松医科大学の大学院生 5名

静岡県立大学の大学院生 1名

<文責> 見野靖晃